

# 東北地方 1 か月予報

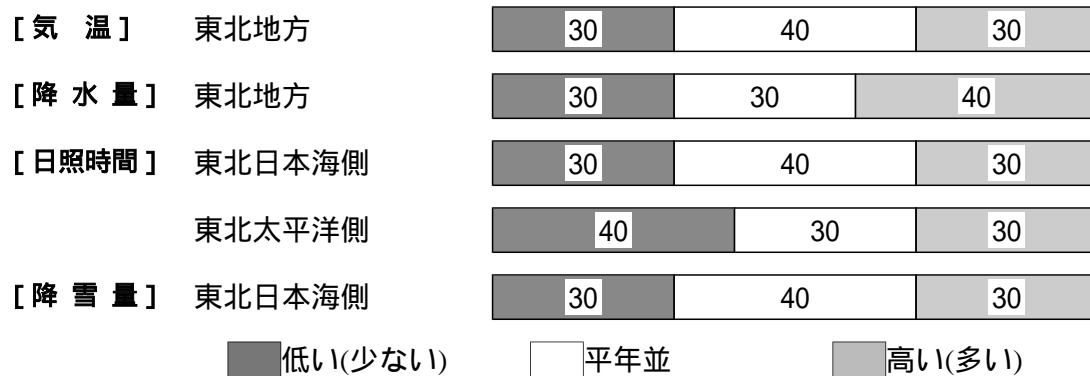
( 1 2 月 1 2 日から 1 月 1 1 日までの天候見通し )

平成 2 1 年 1 2 月 1 1 日  
仙台管区气象台発表

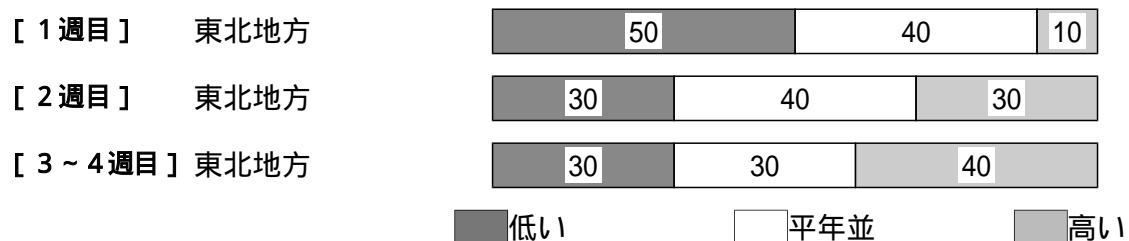
## < 予想される向こう 1 か月の天候 >

向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。  
東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。  
週別の平均気温は、1 週目は低い確率が 5 0 % です。

## < 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率 ( % ) >



## < 気温経過の各階級の確率 ( % ) >



## < 予報の対象期間 >

1 か月 : 1 2 月 1 2 日 ( 土 ) ~ 1 月 1 1 日 ( 月 )  
1 週目 : 1 2 月 1 2 日 ( 土 ) ~ 1 2 月 1 8 日 ( 金 )  
2 週目 : 1 2 月 1 9 日 ( 土 ) ~ 1 2 月 2 5 日 ( 金 )  
3 ~ 4 週目 : 1 2 月 2 6 日 ( 土 ) ~ 1 月 8 日 ( 金 )

## < 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 1 2 月 1 8 日  
3 か月予報 : 1 2 月 2 4 日 ( 木 ) 1 4 時

## < 参考資料（ 平年並の範囲等 ） >

（ １ ） 30 年平均値（ 向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温 ）

	気 温 ( )	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	降 雪 量 (cm)	気 温( )		
					1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
青森	0.1	143.2	53.4	200	1.2	0.4	-0.3
深浦	1.3	113.9	32.1	97	2.3	1.7	0.9
むつ	0.1	90.8	73.1	129	1.1	0.4	-0.3
八戸	0.4	41.1	128.9	72	1.5	0.8	0.0
秋田	1.5	141.9	45.4	101	2.6	1.9	1.1
盛岡	-0.4	56.2	110.5	84	0.7	0.0	-0.9
大船渡	2.3	36.6	142.4	3	3.3	2.6	1.9
宮古	1.9	39.4	153.8	29	2.9	2.2	1.4
仙台	3.1	30.8	145.8	23	4.2	3.5	2.6
石巻	2.1	29.3	158.1	0	3.2	2.5	1.7
山形	1.1	81.9	84.0	129	2.3	1.6	0.6
新庄	0.1	203.7	37.7	225	1.2	0.5	-0.3
酒田	3.1	180.6	40.6	98	4.2	3.5	2.7
福島	3.0	37.7	130.1	51	4.1	3.4	2.5
若松	0.8	87.4	72.2	144	1.9	1.1	0.3
白河	1.6	27.6	155.1	37	2.7	2.0	1.2
小名浜	5.0	38.3	184.8	0	6.0	5.3	4.6

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（ ２ ） 1971 ～ 2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差（ 比 ）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.2 ～ +0.6	75 ～ 100	97 ～ 105	72 ～ 105
東北日本海側	-0.3 ～ +0.6	91 ～ 106	90 ～ 107	82 ～ 109
東北太平洋側	-0.2 ～ +0.7	61 ～ 103	97 ～ 105	60 ～ 105

（ ３ ） この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.6 ～ +0.6	-0.6 ～ +0.7	-0.2 ～ +0.7
東北日本海側	-0.6 ～ +0.6	-0.6 ～ +0.7	-0.2 ～ +0.7
東北太平洋側	-0.6 ～ +0.6	-0.6 ～ +0.8	-0.2 ～ +0.7

## < 参考資料（ 利用上の注意 ） >

（ １ ） 気温（ 降水量 ）等は、「低い（ 少ない ）」「平年並」「高い（ 多い ）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ～ 2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（ それぞれ 3 3 % ）となるように決めてあります（ 気候的出現率と呼びます ）。

（ ２ ） 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 1 0 % 以下や 6 0 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（ 3 0 % 、 4 0 % ）の確率しか付けられません。

（ ３ ） 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（ 少ない ）場合は「平年に比べて多い（ 少ない ）」、また平年の日数と同程度に多い（ 少ない ）場合には「平年と同様に多い（ 少ない ）」と表現します。なお、単に多い（ 少ない ）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（ 少ない ）ことを意味します。

# 東北地方 1 か月予報解説資料

平成 21 年 12 月 11 日 仙台管区气象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (12 月 12 日～1 月 11 日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1 週目 (12 月 12 日～12 月 18 日) :

気圧の谷や寒気の影響で曇りや雪または雨の日が多いでしょう。東北太平洋側は沿岸部を中心に晴れるところがある見込みです。

平均気温は低い確率が 50% です。

2 週目 (12 月 19 日～12 月 25 日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3～4 週目 (12 月 26 日～1 月 8 日) :

冬型の気圧配置となる日が多いですが、一時低気圧や気圧の谷の影響を受ける見込みです。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

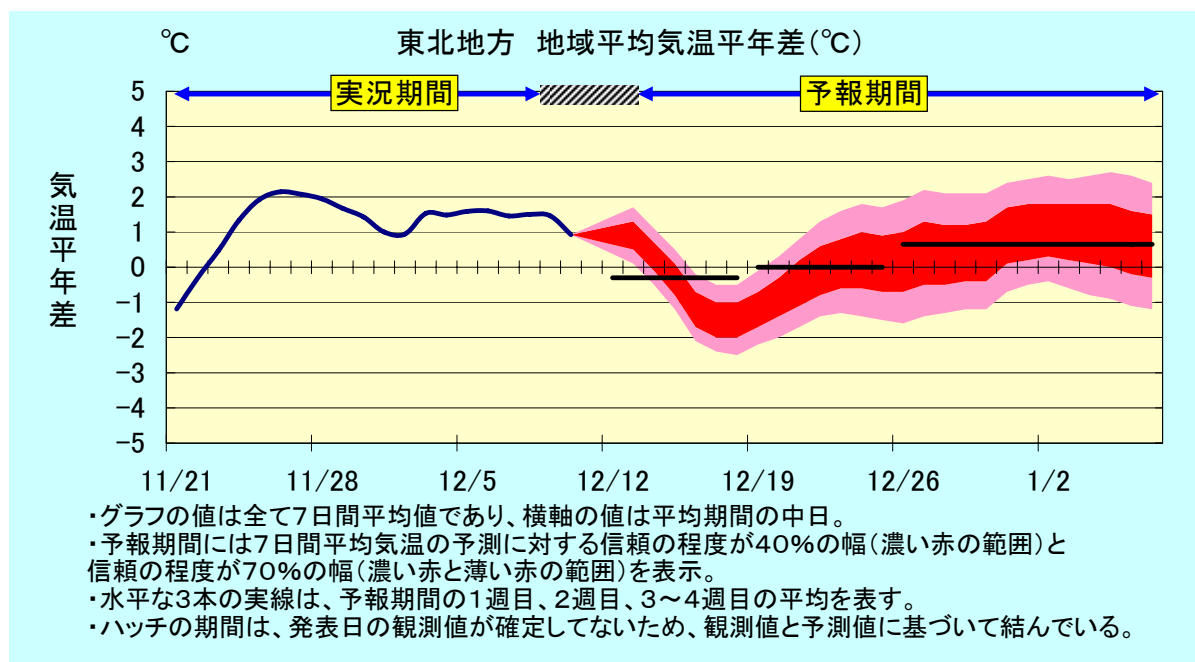
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	4.5 日	1.1 日	1.1 日	2.3 日
東北太平洋側	17.1 日	4.3 日	4.3 日	8.5 日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1 週目、2 週目は平年付近、3～4 週目は平年を上回る予想となっている。予想は、その他の資料から 1 週目を低めに考える。

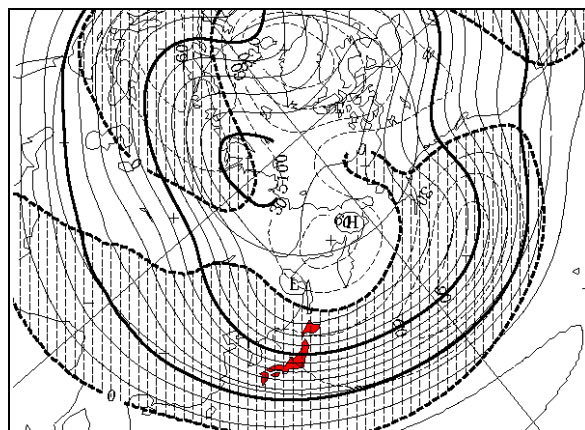


### 3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

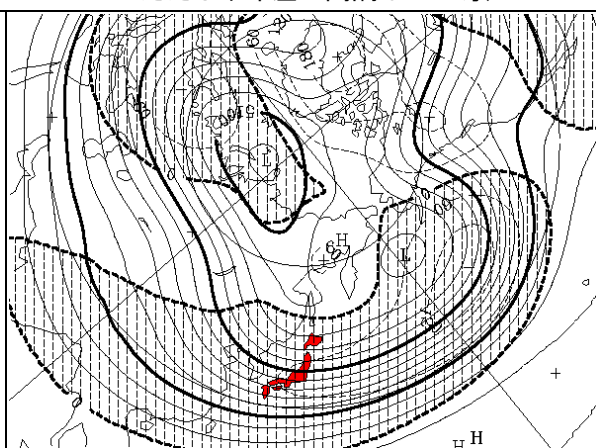
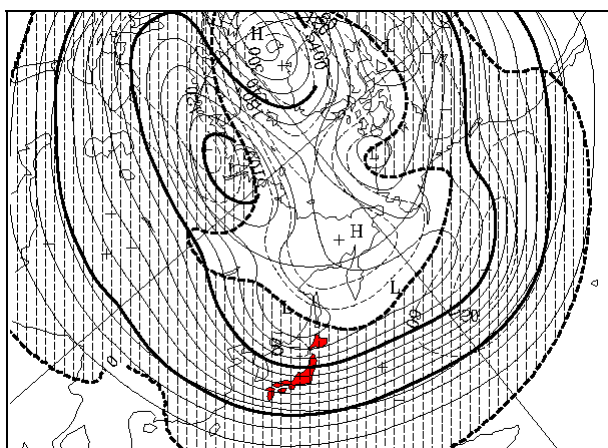
**1か月平均:**おおむね高緯度帯が正偏差、中緯度帯が負偏差で、中緯度帯に寒気の南下しやすいパターン。しかし、850hPa 気温偏差図(図略)では、北海道以北は正偏差で、強い寒気が東北地方付近に流れ込み続ける予想ではない。

**1週目:**日本付近を含む中緯度帯は広く負偏差におおわれる。寒気の影響で、冬型の気圧配置となる日が多い見込み。

**2週目:**日本付近の極東域中緯度帯は負偏差におおわれる。しかし、850hPa 気温偏差図(図略)では、東北地方の偏差は小さく、寒気の流入は西日本中心となる見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図  
(図の見方は1,2週目と同じ  
ただし平年差の間隔は30m 毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

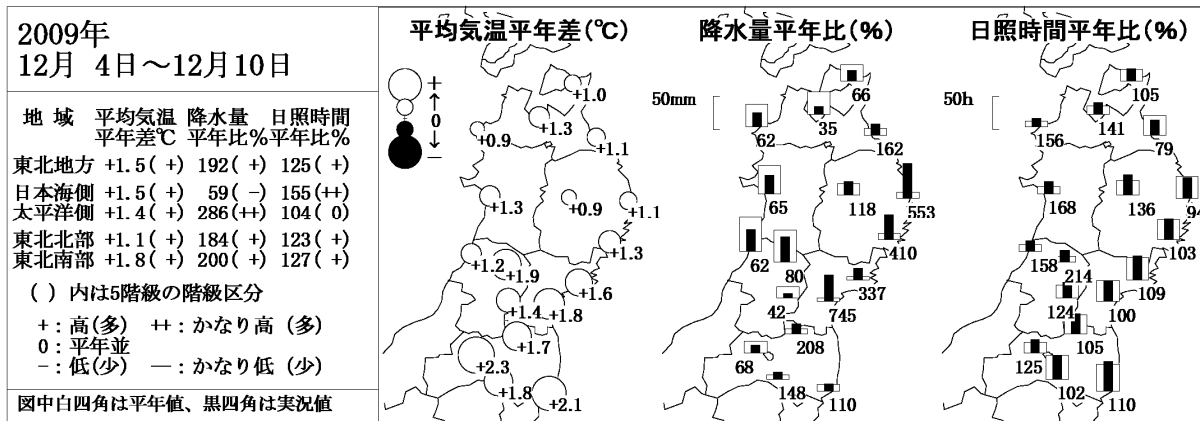
実線は、等高度線(間隔60m)、点線は、平年差(間隔60m)

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

### 4. 最近1週間(12月4日~12月10日)の天候の経過

この期間、低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨または雪の日が多く、冬型の気圧配置の日は少なかった。また、期間の後半は高気圧におおわれ晴れた日もあった。期間を通して暖かい空気におおわれる日が多く、気温は高くなった。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり多い。日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)